

## 平成15年度 富士中央文学講座 受講生募集

☎ 吉原公民館 53-1580

と き 5月～平成16年3月 10:00～12:00 計9回(ほかに文学散歩を予定)  
ところ ラ・ホール富士5階研修室  
定員 130人(先着順)  
テーマ 文学に人間の愛とロマンを求めて  
講師 榎橋克弥さん(静岡大学教授)ほか  
受講料 6,000円(資料代含む)  
申し込み 4月2日(水)の9:00～12:00  
に受講料を持参し、吉原公民館へ  
問い合わせ 山本 方 ☎51-1843

## 看護・介護を体験してみませんか ふれあい看護体験参加者募集

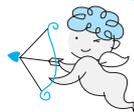
☎ 中央病院 52-1131 内線 2207

施設名	と き	定員
湖山病院	5月10日(土) 8:30～17:30	3人 (女性のみ)
川村病院	5月16日(金) 9:30～15:30	3人
聖 隷 吉原病院	5月13日(火)・14日(水) 8:30～15:30	各5人 (15歳以上)

申し込み・問い合わせ 4月10日まで  
に、往復はがきに希望する病院、  
参加日、住所、氏名、性別、年齢、  
電話番号、洋服のサイズ(S.M.L)  
を記入し、〒420-0853 静岡市追手  
町10-304 新中町ビル2階静岡県ナ  
ースセンターへ ☎054-253-0713

## 4月からハピネスFuji(結婚相談)の開催日が変更になります

開催日 毎週水曜日、毎月第2・4日曜日 10:00～15:00  
問い合わせ ハピネスFuji(社会福祉協議会) ☎64-6604



## 平成15年度 日本文化講座 受講生募集

☎ 吉原公民館 53-1580

と き 5月22日～平成16年3月25日 10:00～12:00 計10回  
ところ ラ・ホール富士5階研修室  
内容 与謝蕪村「蕪村句集」、上田秋成「雨月物語」などを読む  
定員 100人(先着順)  
受講料 7,000円  
申し込み 4月3日(木)の9:00～12:00  
に受講料を持参し、吉原公民館へ  
問い合わせ 日本文化講座運営委員  
会 釘谷 方 ☎35-0507

## 転倒予防教室

☎ 保健福祉センター 64-8993

転ばない生活を考え、転びにくい  
体づくりをしませんか。

と き 4月25日、5月9日・23日、  
6月6日・20日、7月4日  
・25日 各金曜日 計7回  
13:30～15:30  
ところ フィランセ西館  
内容 健康チェック・体力測定・  
転倒予防のための運動など  
対象 60～74歳の人  
定員 20人(先着順)  
参加費 800円(スポーツ保険料)  
申し込み 4月7日から受け付けま  
す。電話で保健福祉センターへ

## 脳いきいき教室

☎ 保健福祉センター 64-8993

家に閉じこもりがちな人、最近ば  
んやりすることが多い人などの心身  
と脳の機能を活性化する教室です。  
と き 4月21日～平成16年2月  
16日 4月22日～平成16年2月  
10日 10:00～11:30 各計11回  
ところ 吉原公民館 元吉原公民館  
内容 脳いきいき体操、ゲーム、  
音楽、民謡、俳句など  
対象 65歳以上の人  
定員 とも10人程度(先着順)  
申し込み 3月19日～4月4日に電  
話で保健福祉センターへ

## 介護保険料の口座振替用 領収通知書の省略について

平成14年度分から介護保険料を  
口座振替で支払っている人への領収  
通知書の発行を省略します。皆さん  
のご理解とご協力をお願いします。

**振替の確認方法** 振替の内容につ  
いては、ご利用口座の預貯金通  
帳に記載される摘要と支払金額  
によってご確認ください。

確定申告などの資料「普通徴  
収用の納付済額のお知らせ」は  
1月20日に発送しました。

なお、介護保険料の納付済額  
についての確認が特に必要な人  
は申し出ただけで発行しま  
す。

☎ 介護保険課 55-2765

## 環境シリーズ

(54)

## 環境教育、環境学習の重要性

今日の環境問題は、二酸化炭素の  
排出による地球温暖化など、通常の  
日常生活や事業活動が原因であるこ  
とが多く、この解決には、私たちの  
環境に対する理解がより一層深まる  
ことが重要です。そのために環境教  
育・環境学習は、環境問題に対する  
意識を高める上でとても大切です。

特に、将来を担う子どもたちに対  
しては、実施の効果が大きいと考え  
られますので、さらに重点的に行っ  
ていきます。また、子どもたちの意  
識向上は大人に対する意識向上にも  
つながります。

環境教育・環境学習の内容として  
は、これまでの環境汚染や自然保護  
だけでなく、地球環境問題、エネル  
ギー、食糧問題、人口、歴史、文化  
など広い範囲の要素を、体験を通じ  
て、自分から考え、調べて行動する  
ことができるような形にすることが  
必要です。学校でも総合学習の時間  
に「環境」について調べる子どもが  
多くなってきています。

現在、市では、こどもエコクラブ  
(小中学生で環境活動をしているグ  
ループ)の活動支援やこどもエコク  
ラブサポーター連絡会によるサポー  
ター相互の連絡や研修会を実施して  
いるほか、学校へ出向いての環境学  
習会の開催、各団体などにおける環

境保全活動の支援、バックテスト(水  
質の簡易分析)などの簡易測定器の  
提供などを行っています。

環境教育・環境学習の振興のため  
には、より一層、行政、市民、事業  
者、市民団体などが協力し合うこと、  
環境学習のための指導員の育成、現  
在公民館などで行われている自然観  
察会などの環境啓発事業をお互いに  
連携させることなども必要です。

環境教育・環境学習については、  
「富士市環境基本条例」でも規定し  
ており、環境基本計画でも重点取り  
組み項目になっています。

問い合わせ ☎環境保全課 55-2776